

9 実施計画詳細

第3の政策

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	行財政改革推進課
施策項目	1) 事務事業の見直しと効率化の推進		関連部署	業務所管課
取組項目	A I ・ R P A の積極的な推進			

前年度までの取組および現状	R 3 年度の取組実施内容
基幹業務の一部においてRPAを活用した事務作業について実施しました。インフルエンザの予診票入力や口座情報入力、税の異動情報入力などに活用し、AI-OCRを利用しているデータ化の過程において誤読処理などの作業が発生しました。申請書等の様式を見直すなどの課題もあります。	RPAの活用に向けた庁内横断的な研究チームを立ち上げるなどRPA化が可能な業務について研究を進めます。
	数値目標 —

	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)
取組計画	調査・研究	シナリオ作成・運用開始		削減効果検証・人事配置の適正	
	検討チームの構築、RPA業務の研究	RPA業務のシナリオ作成	事務処理のRPA化を実施	RPA移行事務の効果検証	人事配置の見直し検討
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5 : 目標を大きく上回る成果があった 4 : 目標以上の成果があった 3 : 目標達成できた
 2 : 目標達成に届かなかった 1 : 取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

単純な入力作業などはAIやRPAに任せるなど事務処理の効率化を達成しています。職員も適正に配置され、ワーク・ライフ・バランスが確保されています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	総務課
施策項目	1) 事務事業の見直しと効率化の推進		関連部署	行財政改革推進課
取組項目	電子決裁導入による事務事業の効率化、AI・RPAの導入および推進			

<p style="text-align: center;">前年度までの取組および現状</p> <p>文書管理システム構築を検討してきたが、文書庫の不足や文書廃棄の判断基準等についてコンサルティングを行う方が効果が高いことから、事業内容を大幅に見直しました。 また、おうみ自治体クラウド協議会において共同調達することとしたため、導入時期を見合わせました。</p>	<p style="text-align: center;">R3年度取組実施内容</p> <p>電子決裁を含めた文書管理システムの構築について、おうみ自治体クラウド協議会において近隣市との共同調達に向けた研究および協議を始めます。 文書管理システム構築に係る、仕様書およびプロポーザルに必要な実施要領等を作成します。また、文書管理コンサルティングの仕様についても検討します。</p>
数値目標	—

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	仕様書および実施要領の検討・作成	業者選定 導入・稼働	運用	運用	運用
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5 : 目標を大きく上回る成果があった 4 : 目標以上の成果があった 3 : 目標達成できた
 2 : 目標達成に届かなかった 1 : 取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

システムの活用により、文書検索および決裁に要する時間が短縮されるとともに、決裁の進捗管理ができるため、効率よく事務を遂行することができます。電子化により文書保管場所が確保されています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	人事課
施策項目	1) 事務事業の見直しと効率化の推進		関連部署	
取組項目	業務プロセスの標準化、業務の見直しによる適正な人事配置			

前年度までの取組および現状	R3年度の取組実施内容
業務プロセスは業務手順書により実施しています。組織については、多様化する住民ニーズに対応するため、各部等のヒアリングなどにより組織の見直しを行っています。	業務手順書から業務プロセスの作成について検討します。 業務プロセスの方針、該当業務の洗い出しを行います。
	数値目標
	—

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	業務プロセス作成の検討	業務プロセスの見直し（部門）	業務プロセスの見直し（部門）	各年度に見直しを行った業務プロセスの評価、整理	前年度に評価した業務プロセスの試行
			業務の見直しに合わせた人事配置	業務の見直しに合わせた人事配置	業務の見直しに合わせた人事配置
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5：目標を大きく上回る成果があった　4：目標以上の成果があった　3：目標達成できた
2：目標達成に届かなかった　1：取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

適正な職員配置と業務の効率化により、職員の職場環境と住民サービスの向上が図られています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	人事課
施策項目	1) 事務事業の見直しと効率化の推進		関連部署	
取組項目	テレワークの推進			

<p style="text-align: center;">前年度までの取組および現状</p> <p>令和2年度にテレワークの環境整備を行いました。今後は、テレワークを含む在宅勤務を試し、使いやすい制度の構築や職場環境の整備を行います。</p> <p>また、在宅勤務での利用だけでなく、サテライトオフィスや災害時の活用などの新たな利用方法を検討しています。</p>	<p style="text-align: center;">R3年度 of 取組実施内容</p> <p>テレワークや在宅勤務取得のため、勤務環境の整備を検討します。 利用がない場合は、利用の促進に向け、テスト的な運用を実施します。</p>
数値目標	—

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	<p>テレワークや在宅勤務の周知</p>	<p>テレワークや在宅勤務の周知</p> <p>テレワークの多様な活用の検討</p>	<p>テレワークの多様な活用の試行</p>	<p>テレワークの評価</p>	<p>特定事業主行動計画の見直し</p>
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5 : 目標を大きく上回る成果があった 4 : 目標以上の成果があった 3 : 目標達成できた
 2 : 目標達成に届かなかった 1 : 取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

新たな働き方により、育児・介護休暇の取得や時間外勤務の削減など、働きやすい環境が整備され、ライフワークバランスが実現されます。

第四次湖南市行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	行財政改革推進課
施策項目	2) 公共施設等総合管理計画の着実な実行		関連部署	施設所管課
取組項目	公共施設等総合管理計画個別施設計画の実行			

前年度までの取組および現状	R3年度の取組実施内容
H29 青少年自然道場の廃止 H30 中央まちづくりセンターの廃止 伝統工芸会館の廃止 勤労青少年ホームの廃止 R1 雨山市民プールの廃止 中央まちづくりセンターの除却 R2 石部駅コミュニティハウスの廃止、除却 農業集落多目的集会施設の廃止	水戸体育館の耐震改修 旧青少年自然道場の除却 旧雨山市民プールの除却 旧菩提寺こども園の除却 農業集落多目的集会施設の地域譲渡
	数値目標 5,000㎡の延床面積の削減

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	廃止済施設について除却 施設の長寿命化	施設の統廃合の検討 施設の長寿命化	施設の統廃合 施設の長寿命化	施設の複合化の検討 施設の長寿命化	施設の複合化の検討 施設の長寿命化
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5：目標を大きく上回る成果があった 4：目標以上の成果があった 3：目標達成できた
2：目標達成に届かなかった 1：取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

公共施設等総合管理計画第1期の目標である10,000㎡の延床面積削減ができています。

第四次湖南市行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	行財政改革推進課
施策項目	2) 公共施設等総合管理計画の着実な実行		関連部署	
取組項目	市遊休地の有効活用			

前年度までの取組および現状	R3年度の取組実施内容
H30 遊休地売却 1件 面積 (1,800.03㎡) 77,556千円 R1 遊休地売却 1件 面積 (483.97㎡) 13,800千円 R2 遊休地売却 2件 面積 (4,054.21㎡) 76,300千円	遊休地売却に向け取組を行うとともに、売却可能資産の資産整理、課題整理を行います。
	数値目標 遊休地売却 7,000千円

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画					
	遊休地売却 資産整理	遊休地売却 資産整理	遊休地売却 資産整理	遊休地売却 資産整理	遊休地売却 資産整理

中間進捗					
評価					

年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5 : 目標を大きく上回る成果があった 4 : 目標以上の成果があった 3 : 目標達成できた
2 : 目標達成に届かなかった 1 : 取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

未利用財産の資産整理が行えており、課題整理ができています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	行財政改革推進課
施策項目	3) 受益者負担および補助金・負担金の適正化		関連部署	施設所管課
取組項目	公共施設使用料の定期的な見直し			

前年度までの取組および現状	R3年度の取組実施内容
施設使用料適正化指針により5年ごとに改定を行い、前回は平成30年に改定を行っています。施設ごとの減免もあるため適正に受益者負担の公平性が保たれているとは言いきれないため、減免についても見直し検討を行う必要があります。	各施設の使用料データを整理し、次回の使用料改定に向けての基礎資料を作成します。 また、施設稼働率や、修繕費等の資料についても整理をします。
	数値目標
	—

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	→				
	使用料のデータ整理 基礎資料の整理	施設使用料・減免規定の見直し	R5. 4より改定使用料の施行	使用料のデータ整理	使用料のデータ整理
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5：目標を大きく上回る成果があった 4：目標以上の成果があった 3：目標達成できた
2：目標達成に届かなかった 1：取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

公の施設を利用する者と利用しない者との均衡を考慮し、施設の管理運営に要する経費に対する負担の公平性、公正性を確保できる基準を設定していきます。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	行財政改革推進課
施策項目	3) 受益者負担および補助金・負担金の適正化		関連部署	所管課
取組項目	補助金の見直し指針の改訂、補助金の見直し			

前年度までの取組および現状 補助金等の見直し指針に基づき、行政の責任範囲、費用対効果などの検証を行い実施計画期間において2.3億円の削減を目標とし、ヒアリングの実施および削減案の作成を行いました。	R3年度の取組実施内容 補助要綱の確認等により公益性の確保、補助基準が適しているのか精査し予算編成までに確認し見直しを行います。
	数値目標 前年比2%削減

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	補助要綱の確認、見直し、削減	改定 指針改定 見直し、削減	見直し、削減	見直し、削減	見直し、削減
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5 : 目標を大きく上回る成果があった 4 : 目標以上の成果があった 3 : 目標達成できた
 2 : 目標達成に届かなかった 1 : 取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

政策目的を効率的に実現するための手段として活用されている補助金ではあるが、社会情勢の変化により意義の薄れているもの、補助効果の小さいものについては検証し、補助団体の理解を得たうえで廃止、縮小していきます。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	行財政改革推進課
施策項目	4) 広域連携の推進		関連部署	システム所管課
取組項目	自治体クラウドの推進			

<p>前年度までの取組および現状</p> <p>基幹システムのクラウド化により運用経費を年間約70,000千円削減してきました。新たな内部業務のクラウド化を検討しています。更なる経費削減と業務システムの標準化を目指して自治体クラウドの推進に取組めます。</p>	<p>R3年度の取組実施内容</p> <p>クラウド化ができていないシステムおよび新たなシステムについて分科会を立上げ共同利用に向け近隣市と調査・研究に取組めます。</p>
数値目標	—

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">調査</div> クラウドシステムの調査・研究	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">計画・調達</div> クラウドシステムの調査・計画	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">計画・調達</div> クラウドシステムの計画・調達	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">準備</div> 基幹クラウドシステムの更新準備	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">調達</div> 基幹クラウドシステムの調達
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5 : 目標を大きく上回る成果があった 4 : 目標以上の成果があった 3 : 目標達成できた
 2 : 目標達成に届かなかった 1 : 取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

自治体クラウド可能な業務システムが共同利用により、運用経費が削減されており事務の処理についても標準化されています。

第四次湖南市行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	地域創生推進課
施策項目	4) 広域連携の推進		関連部署	全部署
取組項目	広域連携の推進			

前年度までの取組および現状	R3年度の取組実施内容
3つの広域行政協議会（栗東市・野洲市・竜王町、甲賀市）を活用し、隣接自治体との共通課題に対し調査研究を行い効果的な施策を講じることで、相互の発展を通じて住民福祉の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ○栗東・湖南広域行政協議会 国道1号整備、野洲川改修、草津線複線化要望 ○野洲・湖南・竜王総合調整協議会 新設道路要望、スマートIC設置要望 ○甲賀市・湖南市広域行政協議会 外国人支援、地域新電力、観光振興、バス広域化、公共施設の相互利用、天保義民の検討
	数値目標
	—

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	調査研究・実施 滋賀県道路要望	調査研究・実施 滋賀県道路要望	調査研究・実施 滋賀県道路要望	調査研究・実施 滋賀県道路要望	調査研究・実施 滋賀県道路要望
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5：目標を大きく上回る成果があった 4：目標以上の成果があった 3：目標達成できた
 2：目標達成に届かなかった 1：取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

広域課題への取り組みを通じて、相互の発展や住民福祉の向上が実現しています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	税務課
施策項目	5) 財政の健全化		関連部署	収納課・財政課・行財政改革推進課
取組項目	税率改定の検討（制限税率未満の税目の率改訂検討）			

<p style="text-align: center;">前年度までの取組および現状</p> <p>法人市民税の法人税割について、令和元年（2019年）10月1日以降新たに開始される事業年度分から、税率7.7%（標準税率6.0%、制限税率8.4%）で課税を行っています。</p>	<p style="text-align: center;">R3年度 of 取組実施内容</p> <p>近隣自治体の状況を確認するため、県内市町の税率を調査し、比較を行います。</p>
数値目標	—

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	県内自治体の状況調査	類似団体を中心に県外自治体の状況調査	税率を改定した場合の税収見込みの算定	税率を改定した場合の税収見込みの算定	税率改定（案）の作成
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5：目標を大きく上回る成果があった 4：目標以上の成果があった 3：目標達成できた
 2：目標達成に届かなかった 1：取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

新たな財源の確保策として、制限税率未満の税目の改正の可能性について検討を終え改正が可能であれば新税率により課税しています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	収納課
施策項目	5) 財政の健全化		関連部署	税務課
取組項目	市税の徴収率の向上			

<p style="text-align: center;">前年度までの取組および現状</p> <p>徴収率の向上を図るため、口座振替の推進やコンビニ収納、R2年度からはスマートフォン決済サービスによる収納を導入し、納税者の利便性を考慮し納付環境を整えました。 また、適正な債権管理、回収に向けて滋賀県や甲賀市と連携を図りながら滞納処分の強化に努めてきました。</p>	<p style="text-align: center;">R3年度の取組実施内容</p> <p>行政運営の根幹となる税収を確保し税負担の公平性を維持するため、徴収率の向上を目指します。 コロナ禍による収入の減少で収納率に影響が出ており、今後も厳しい状況が見込まれますが、適正な債権管理を行い、徴収率を維持、向上を図ります。</p> <p style="text-align: center;">現年度分収納率 H28 98.54% H29 98.45% H30 98.51% R1 98.55% R2 96.26% (4.12時点)</p>
数値目標	徴収率98.4%

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	市税の徴収率向上 (市税四税) 現年度分 目標徴収率 98.4%	市税の徴収率向上 (市税四税) 現年度分 目標徴収率 98.5%	市税の徴収率向上 (市税四税) 現年度分 目標徴収率 98.6%	市税の徴収率向上 (市税四税) 現年度分 目標徴収率 98.7%	市税の徴収率向上 (市税四税) 現年度分 目標徴収率 98.8%
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5 : 目標を大きく上回る成果があった 4 : 目標以上の成果があった 3 : 目標達成できた
2 : 目標達成に届かなかった 1 : 取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

市税の徴収率が向上し目標収納率を達成することにより、税収が確保できています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	地域創生推進課
施策項目	5) 財政の健全化		関連部署	
取組項目	ふるさと納税の拡大			

前年度までの取組および現状 ふるさと納税の県内の寄附額は、コロナ禍における巣ごもり需要等で注目を集め増加傾向にあります。が、本市は取組が遅れており横ばいの状況です。 (参考) 平成30年度：160,534,020円 (6,896件) 令和元年度：114,707,000円 (4,927件) 令和2年度：116,550,000円 (4,957件)	R3年度 of 取組実施内容 返礼品の魅力を高めるための市独自の特設サイト構築、写真撮影、ライティング、広告等の戦略的トータルプロモーションを行います。
数値目標	寄附額 3億円

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	特設サイト構築 返礼品の魅力向上	特設サイト等ポータルサイト運営 返礼品の魅力向上	特設サイト等ポータルサイト運営 返礼品の魅力向上	特設サイト等ポータルサイト運営 返礼品の魅力向上	特設サイト等ポータルサイト運営 返礼品の魅力向上
中間進捗					
評価					
年度末実績					
実績効果額					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5：目標を大きく上回る成果があった 4：目標以上の成果があった 3：目標達成できた
 2：目標達成に届かなかった 1：取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

ふるさと納税制度を通じてシティプロモーションが進み移住定住が促進されるとともに、寄附額の増収により市民サービスが向上しています。

第四次湖南省行政改革大綱実施計画

政策	第3の政策	効率的・効果的な行財政運営	担当部署	財政課
施策項目	財政の健全化		関連部署	全部署
取組項目	財政調整基金の安定確保			

前年度までの取組および現状	R3年度の取組実施内容	
<p>令和2年度に長期財政計画の定期見直し（3年ごとの見直し）を行い、本市の将来を見据えた、確固たる財政基盤の構築に取り組むこととしています。少子高齢化および新型コロナウイルス感染症の影響による歳入減に耐えうる財政基盤の確立が必要であり、限られた財源を有効に活用し、市民ニーズに的確に対応した施策への「選択と集中」を図ることが重要です。</p>	<p>財政調整基金に過度の依存をすることのない予算編成に取り組めます。</p> <p>また、特定目的基金の計画的な積み立てや運用により安定した財源確保に取り組めます。</p> <p>財政調整基金：標準財政規模の10%を確保（当初予算編成時点（毎年1月末時点））</p>	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">数値目標</td> <td style="width: 50%;">標準財政規模の10%を下回らない</td> </tr> </table>	数値目標
数値目標	標準財政規模の10%を下回らない	

	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
取組計画	▶				
	財政調整基金は当初予算編成時点で標準財政規模の10%を確保	財政調整基金は当初予算編成時点で標準財政規模の10%を確保	財政調整基金は当初予算編成時点で標準財政規模の10%を確保	財政調整基金は当初予算編成時点で標準財政規模の10%を確保	財政調整基金は当初予算編成時点で標準財政規模の10%を確保
中間進捗					
評価					
年度末実績					
<small>実績効果額</small>					
評価					

【年度末実績評価基準】

- 5：目標を大きく上回る成果があった 4：目標以上の成果があった 3：目標達成できた
 2：目標達成に届かなかった 1：取組を行うことができなかった

【大綱期間終了の目指す姿】

財政調整基金を標準財政規模の10%を確保し、安定した財政基盤を構築します。

